

## SAP EICS インストールガイド

(DataSpider Servista SAP EICS Install Guide)

ドキュメント・リリース日:2014 年 8 月 14 日 (第二版)





1.	はじ	めに	5
1.1	L.	注意事項	5
1	L.	お客様へのお願い	5
2	2.	商標について	5
1.2	2.	表記について	5
1.3	3.	マークについて	5
2.	必要	まなソフトウェア	7
2.1	L.	SAP Java Connector 3.0 (SAP JCo 3.0)	7
3.	SAF	? EICS のサポートプラットフォーム {	3
4.	SAF	? EICS のサポート SAP システム	9
5.	イン	ストールに関する仕様制限・注意事項10	)
1	L.	インストール先の選択10	)
6.	SAF	? EICS のインストール11	1
6.1	L.	インストーラの起動1:	1
6.2	2.	インストーラの各画面の説明1	1
1	L.	開始画面1	1
2	2.	ライセンス契約/ソフトウェア使用許諾契約書12	1
3	3.	ライセンス契約/サードパーティライセンス確認書12	1
2	1.	インストール先の設定11	1
ŗ	5.	リポジトリのインポート12	1
6	5.	リポジトリのインポート/リポジトリフォルダの設定12	2
7	7.	OpenJMS のインストール12	2
8	3.	OpenJMS のインストール/OpenJMS インストールフォルダの設定12	2
ç	€.	OpenJMS のインストール/Windows サービスの登録12	2
1	LO.	インストール前の要約12	2

11.	DataSpider SAP EICS のインストール12
12.	インストール完了12
6.3.	SAP EICS の構成13
7. SA	P JCo のインストール14
7.1.	SAP JCo のダウンロード14
7.2.	SAP JCo のインストール14
7.3.	SAP システムゲートウェイポートの設定14
8. Op	enJMS サーバの起動と停止15
8.1.	コマンドプロンプトからの起動と停止15
1.	起動15
2.	停止15
8.2.	Windows サービスからの起動と停止15
1.	起動15
2.	停止15
9. SA	P EICS の起動16
10. SA	P EICS リポジトリのバックアップ・移行17
10.1.	バックアップ方法17
10.2.	リストア方法17
10.3.	移行方法
11. SA	P EICS のアンインストール18
11.1.	SAP EICS リポジトリのバックアップ18
11.2.	SAP EICS のアンインストール18
1.	モジュールの削除18
2.	プログラムと機能エントリの削除18
11.3.	OpenJMS のアンインストール19
1.	モジュールの削除19
2.	Windows サービスエントリの削除19

12.	仕様制限
13.	DataSpider Servista 2.4.2 以前にリリースされた SAP EICS からアップグレードされるお客様へ21

## 1. はじめに

本ドキュメントは、DataSpider Servista SAP アダプタ(以下、SAP アダプタ)と連携し、SAP R/3 システムへの接続を行 なうために使用する SAP Enterprise Integration Component Server (以下、SAP EICS)に関してのインストール ガイドです。

SAP EICS では、SAP アダプタで使用する BAPI を含む RFC 汎用モジュールおよび IDoc を選択するための Web アプリ ケーションです。

#### 1.1. 注意事項

#### 1. お客様へのお願い

- 本ソフトウェアの著作権は株式会社アプレッソまたはそのライセンサーが所有しています。
- 本ソフトウェアおよび本ドキュメントを無断で複製、転載することを禁止します。
- 本ドキュメントは万全を期して作成されていますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございました ら弊社までご連絡ください。
- 本ソフトウェアは使用者の責任でご使用ください。ご使用の結果、万一トラブルおよび訴訟等が発生しましても、あらゆる直接、または間接の損害および損失につきまして、弊社は一切責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
- 本ソフトウェアの仕様や本ドキュメントに記載されている内容は、改善のため予告なしに変更されることがあります。
- 本ソフトウェアの使用には、ソフトウェアライセンス契約が必要で、株式会社アプレッソまたはそのライセンサーの重要な 業務機密と独自の情報が含まれており、日本国政府の著作権法で保護されています。株式会社アプレッソまたはそのライセンサーのソフトウェアと本ドキュメントの無断使用は、損害賠償、刑事訴訟の対象となります。

#### 2. 商標について

- APPRESSO、APPRESSO ロゴ、アプレッソ、DataSpider、DataSpider マーク、データスパイダー、Servista、 Servista ロゴ、サービスタは、株式会社アプレッソの商標または登録商標です。
- APPRESSO、APPRESSO ロゴ、アプレッソ、DataSpider、DataSpider マーク、データスパイダー、Servista、 Servista ロゴ、サービスタ以外の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。
- 個々のページに表示・記載されたこれら商標等の複製・転用を禁止致します。

## 1.2. 表記について

本ドキュメント内の表記は、次の規則に沿って行われています。

- DataSpider Servista の画面に表示されるメニュー名・タブ名・プロパティ項目名および値・ボタン名は[]で囲んで太 字で表します。また、それ以外の機能名や画面のタイトル、名称のないものは「」で囲んで前者と区別しています。
- 「\$DATASPIDER\_HOME」は DataSpider Servista をインストールしたディレクトリを表します。
  デフォルトでは、Windows 版の場合は「C:¥Program Files¥DataSpiderServista」、UNIX 版の場合は「<ユ ーザのホームディレクトリ>/DataSpiderServista」となります。
- x86 版とは、32bit OS を表します。
  x64 版とは、64bit(Intel 64/AMD64) OS を表します。
  Itanium2 版とは、64bit(Itanium2) OS を表します。
  SPARC 版とは、64bit(SPARC) OS を表します。
- UNIX 版とは、Solaris 版・Linux 版・HP-UX 版・AIX 版を表します。
- <と>で囲まれた名称は、可変であることを表します。

例:\$DATASPIDER\_HOME/server/logs/<日付ディレクトリ>

- 本ドキュメント内に表記されているウェブサイトのURLは2013年7月現在のものです。ウェブサイトの都合などにより、 予告なしに URL が変更になる場合があります。
- 「Studio」とは「DataSpider Studio」を、「Studio for Web」とは「DataSpider Studio for Web」を指します。
- DataSpiderServer についての記述は Windows 版・UNIX 版共通になっています。
  オペレーティングシステムに依存する内容(パス区切り文字など)は適宜読み替えてご使用ください。
- 「DSS-」で始まる番号は、各問題の管理用の一意な ID となります。

## 1.3. マークについて

本ドキュメント内で使用しているマークについての説明は以下の通りです。

マーク	説明
<del>,</del>	操作や設定に関するヒントであることを表します。
	操作や設定に関する注意事項や制限事項であることを表します。
9	詳細な説明が別の項目に記載されていることを表します。

## 2. 必要なソフトウェア

SAP EICS が稼動するために必要なソフトウェアは次のとおりです。

## 2.1. SAP Java Connector 3.0 (SAP JCo 3.0)

#### ダウンロードサイト

SAP 社の Web サイト「SAP Service Marketplace(<u>http://service.sap.com/connectors/</u>)」からダウンロ ードしてください。

> SAP JCo Release 3.0 Windows 32bit

🔔 x86 版 DataSpiderServer を使用している場合、こちらの SAP JCo を使用します。

> SAP JCo Release 3.0 Windows 64bit X86

## 🦺 x64 版 DataSpiderServer を使用している場合、こちらの SAP JCo を使用します。

● 必要なライブラリ

SAP JCo 3.0 を使用する際には、別途ライブラリをインストールする必要があります。詳細は SAP ノート「684106」 を参照してください。

#### ● 注意事項

SAP JCo 3.0 の最新バージョンを使用してください。

## 3. SAP EICS のサポートプラットフォーム

#### • Windows

- > Microsoft Windows Server 2003, Standard/Enterprise Edition SP2 (x86 版)
- > Microsoft Windows Server 2003, Standard/Enterprise x64 Edition SP2 (x64 版)
- ▶ Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise Edition SP2 (x86 版)
- ▶ Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition SP2 (x64 版)
- Microsoft Windows Server 2008 Standard/Enterprise/Datacenter SP2 (x86 版、x64 版) (※1)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise/Datacenter SP1 (x64 版) (※1)
- ▶ Microsoft Windows Server 2012 Essentials/Standard/Datacenter (x64 版) (※2)
- ▶ Microsoft Windows Server 2012 R2 Essentials/Standard/Datacenter (x64 版) (※2)

(※1) Windows Server インストールオプションがフルインストールの場合のみサポートします。

(※2) フルインストール、最小サーバーインターフェイスおよび Server Core をサポートします。

## 4. SAP EICS のサポート SAP システム

#### • SAP システム

- ➢ 3.1H∼4.7
- > SAP ERP 6.0

## 5. インストールに関する仕様制限・注意事項

- インストール環境に SAP EICS がすでに存在する場合、既存の SAP EICS への上書きインストールは行わないでく ださい。
   必ず「<u>SAP EICS のアンインストール</u>」の手順で既存の SAP EICS をアンインストールし、新規にインストールしてください。
- 管理者権限を持つユーザでインストールを行ってください。

#### 1. インストール先の選択

- インストール先フォルダ名に以下の文字を使用することはできません。
  - ▶ 「;」(半角セミコロン)
  - ▶ 「'」(半角シングルクオート)
  - ▶ 「~」(半角チルダ)

## 6. SAP EICS のインストール

## 6.1. インストーラの起動

インストーラファイル「SAPEICS.exe」を実行し、インストーラを起動します。

## 6.2. インストーラの各画面の説明

#### 1. 開始画面

開始画面では、表示される内容を一読の上、[次へ]ボタンを押下します。

#### 2. ライセンス契約/ソフトウェア使用許諾契約書

SAP EICS をインストールするには、表示されるソフトウェア使用許諾契約書の条項に同意する必要があります。契約書の 内容をよくお読みになった上で[使用許諾契約の条項に同意する]を選択し、[次へ]ボタンを押下します。

#### 3. ライセンス契約/サードパーティライセンス確認書

ソフトウェア使用許諾契約書と同様に、表示される確認書の内容をよくお読みになった上で[使用許諾契約の条項に同意する]を選択し、[次へ]ボタンを押下します。

#### 4. インストール先の設定

SAP EICS をインストールする DataSpider Servista のインストールパスを設定し、[次へ]ボタンを押下します。

デフォルトでは「C:¥Program Files¥DataSpiderServista」にインストールするように設定してあります。

(Windows x64 環境では「C:¥Program Files (x86)¥ DataSpiderServista」)

別のディレクトリにインストールする場合には[選択]ボタンを押下してディレクトリチューザを起動し、目的のディレクトリを選択してください。別のディレクトリを選択した後でも、[デフォルトのフォルダに戻す]ボタンを押下することでデフォルトのディレクトリを指定することができます。

#### 5. リポジトリのインポート

バックアップした SAP EICS リポジトリをインポートするかどうかを選択し、[次へ]ボタンを押下します。

- [はい]:SAPEICS リポジトリをインポートします。
- [いいえ]:SAP EICS リポジトリをインポートしません。

「「いいえ」を選択した場合は、次項「リポジトリフォルダの設定」を行う必要はありません。「OpenJMS のインストール」 項を参照してください。

## 6. リポジトリのインポート/リポジトリフォルダの設定

バックアップした SAP EICS リポジトリフォルダのパスを設定し、[次へ]ボタンを押下します。

④ SAP EICS リポジトリのインポート先は「\$DATASPIDER\_HOME/server/system/eics」となります。

#### 7. OpenJMS のインストール

SAP システムからのアウトバウンド処理によってスクリプトを起動するためには OpenJMS が必要となります。 OpenJMS をイ ンストールかどうか選択し、 **[次へ]**ボタンを押下します。

- [はい]:OpenJMS をインストールします。
- [いいえ]:OpenJMS をインストールしません。

「いいえ」を選択した場合は、次項「OpenJMS インストールフォルダの設定」を行う必要はありません。「インストール 前の要約」項を参照してください。

#### 8. OpenJMS のインストール/OpenJMS インストールフォルダの設定

OpenJMS のインストール先のパスを設定し、[次へ]ボタンを押下します。

デフォルトでは「C:¥」にインストールするように設定してあります。

別のディレクトリにインストールする場合には**[選択]**ボタンを押下してディレクトリチューザを起動し、目的のディレクトリを選択 してください。別のディレクトリを選択した後でも、**[デフォルトのフォルダに戻す]**ボタンを押下することでデフォルトのディレクト リを指定することができます。

#### 9. OpenJMS のインストール/Windows サービスの登録

OpenJMS サーバを Windows サービスに登録するかどうかを選択し、[次へ]ボタンを押下します。

#### 10.インストール前の要約

インストールの要約が表示されます。表示内容を確認の上、問題がなければ [インストール]ボタンを押下してインストール を開始してください。

#### 11.DataSpider SAP EICS のインストール

SAP EICS のインストールを行います。

#### 12.インストール完了

インストールが正常に終了すると、「インストール完了」画面が表示されます。**[完了]**ボタンを押下するとインストールが完了 します。

## 6.3. SAP EICS の構成

SAP EICS は以下のモジュールで構成されています。

SAP EICS アプリケーション

\$DATASPIDER\_HOME/server/plugin/tomcat/webapps/eics

SAP EICS ライブラリ

\$DATASPIDER\_HOME/server/system/common/lib

● SAP EICS リポジトリ

\$DATASPIDER\_HOME/server/system/eics

## 7. SAP JCo のインストール

## 7.1. SAP JCo のダウンロード

SAP JCo は SAP EICS で SAP システムへのアクセスするために必要なサードパーティライブラリです。 ダウンロードサイトおよ びサポートする SAP JCo のバージョンは「<u>必要なソフトウェア</u>」を参照してください。

## 7.2. SAP JCo のインストール

SAP JCo は一つの JAR ファイルと一つの DLL ファイルで構成されています。それぞれ以下の場所に配置します。

#### sapjco3.jar

\$DATASPIDER\_HOME/server/system/common/lib 下にコピーします。

sapjco3.dll

\$DATASPIDER\_HOME/server/bin 下にコピーします。

## 7.3. SAP システムゲートウェイポートの設定

アウトバンド処理を行うためには、SAP システムゲートウェイポートの設定が必要となります。 C:¥Windows¥system32¥drivers¥etc¥services ファイルに以下の設定を追記します。

sapgwXX	33XX/tcp	# SAP System Gateway Port				
♀ XX は二桁の番号を表します。 使用する SAP システムゲートウェイの設定に合わせて設定してください。						
♀ SAP システムゲートウェイポートの設定例						
sapgw00	3300/tcp	# SAP System Gateway Port				

## 8. OpenJMS サーバの起動と停止

SAP システムからのアウトバウンド処理によってスクリプトを起動するためには OpenJMS サーバの起動が必要となります。

🔔 DataSpiderServer を起動する前に OpenJMS サーバを起動してください。

🔔 管理者権限を持つユーザで OpenJMS サーバを起動してください。

💡 OpenJMS サーバはポート番号「1099」を使用しています。

## 8.1. コマンドプロンプトからの起動と停止

#### 1. 起動

OpenJMS をインストールしたディレクトリ以下の bin ディレクトリに移動し、「openjms.exe」を実行します。

#### 2. 停止

OpenJMS をインストールしたディレクトリ以下の bin ディレクトリに移動し、「shutdown.exe」を実行します。

## 8.2. Windows サービスからの起動と停止

#### 1. 起動

Windows の「管理ツール」-「サービス」からの起動や「net start < OpenJMS の Winodws サービス名>」コマンドの実行で OpenJMS サーバを起動します。

#### 2. 停止

Windowsの「管理ツール」-「サービス」からの停止や「net stop <OpenJMSのWinodwsサービス名>」コマンドを実行でOpenJMSサーバを停止します。

## 9. SAP EICS の起動

SAP EICS は DataSpiderServer の Web アプリケーションとしてインストールされます。 SAP EICS は DataSpiderServer 起動時に起動されます。 DataSpiderServer を起動し、 Web ブラウザから以下の URL にアクセス します。

http://<server-host>:<server-port>/eics/

#### <server-host>:

DataSpiderServer をインストールしたホストのホスト名または IP アドレスです。

#### <server-port>:

DataSpiderServer が起動しているポート番号です。インストール時のデフォルトのポート番号は「7700」です。



## 10. SAP EICS リポジトリのバックアップ・移行

## 10.1. バックアップ方法

SAP EICS リポジトリをバックアップする場合には、 \$DATASPIDER\_HOME/server/system/eics ディレクトリをコピーし、バックアップ保存ディレクトリにペーストします。

## 10.2. リストア方法

バックアップした SAP EICS をリストアする場合は、 \$DATASPIDER\_HOME /server/system/eics ディレクトリを、バッ クアップした SAP EICS リポジトリで上書きします。

- 1. DataSpiderServer を停止します。
- 2. \$DATASPIDER\_HOME /server/system/eics ディレクトリを移動または削除します。

3. バックアップした SAP EICS リポジトリを\$DATASPIDER\_HOME /server/system/eics ディレクトリとして配置します。

4. DataSpiderServerを起動します。

## 10.3. 移行方法

SAP EICS リポジトリを異なる筐体に移行する場合には、移行元の筐体の SAP EICS リポジトリをコピーし、移行先の筐体の SAP EICS リポジトリに上書きします。

- 1. 移行元の筐体の\$DATASPIDER\_HOME /server/system/eics ディレクトリをコピーします。
- 2. 移行先の筐体の DataSpiderServer を停止します。
- 3. 移行先の筐体の\$DATASPIDER\_HOME /server/system/eics ディレクトリを移動または削除します。

4. 移行元の筐体でコピーした SAP EICS リポジトリを移行先の筐体の\$DATASPIDER\_HOME /server/system/eics ディレクトリとして配置します。

5. 移行先の DataSpiderServer を起動します

## 11. SAP EICS のアンインストール

SAP EICS をアンインストールする場合には、以下の手順でアンインストールします。

Pンインストールを行う前に、必ず DataSpider Servista の各種アプリケーション、OpenJMS サーバが停止していることを確認してください。

## 11.1. SAP EICS リポジトリのバックアップ

SAP EICS リポジトリのバックアップを行います。 SAP EICS リポジトリのバックアップ方法は「<u>バックアップ方法</u>」を参照してくだ さい。

SAP EICS アンインストール時に SAP EICS リポジトリのバックアップが必要ない場合には次項「SAP EICS のアンインストール」を参照してください。

## 11.2. SAP EICS のアンインストール

#### 1. モジュールの削除

以下のファイルやディレクトリをすべて手動で削除します。

- \$DATASPIDER\_HOME/server/system/common/lib/cryptix-jce-api.jar ファイル
- \$DATASPIDER\_HOME/server/system/common/lib/cryptix-jce-compat.jar ファイル
- \$DATASPIDER\_HOME/server/system/common/lib/cryptix-jce-provider.jar ファイル
- \$DATASPIDER\_HOME/server/system/common/lib/eics-client.jar ファイル
- \$DATASPIDER\_HOME/server/system/eics ディレクトリ
- \$DATASPIDER\_HOME/server/plugin/tomcat ディレクトリ
- \$DATASPIDER\_HOME/Uninstall/SAPEICS ディレクトリ

#### 2. プログラムと機能エントリの削除

管理者権限を持つユーザで Windows の「コントロールパネル」-「プログラムと機能」を開き、「DataSpider SAP EICS」 を選択し、「アンインストールと変更」を実行します。

すでにアンインストールされている可能性がある旨のメッセージが表示され、「プログラムと機能」から DataSpider SAP EICS を削除するかどうかを確認するダイアログが表示されます。

[はい]ボタンを押下し、SAP EICS のエントリを削除します。

## 11.3. OpenJMS のアンインストール

#### 1. モジュールの削除

OpenJMS をインストールしたディレクトリ以下をすべて手動で削除します。

#### 2. Windows サービスエントリの削除

管理者権限を持つユーザでコマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドで OpenJMS サーバの Windows サービスエントリ を削除します。

> sc delete <OpenJMS サーバの Windows サービス名>

④ OpenJMS サーバを Windows サービスに登録した場合に実行してください。

## 12. 仕様制限

- SAP EICS のログはサーバ標準エラー出力「\$DATASPIDER\_HOME/server/logs/server.error.log」に出力 されます。
- OpenJMS サーバの設定を変更しないでください。

# DataSpider Servista 2.4.2 以前にリリースされた SAP EICS からアップグレードされるお客様へ

DataSpider Servista 2.4.2 以前にリリースされた SAP EICS からアップグレードされる際には、SAP EICS で設定され た全ての Business Method と Event を再設定する必要があります。既に設定された Business Method と Event の [Edit]メニューから設定値を変更せずに[Continue]を2度押下し、再度登録することで再設定することができます。

DataSpider Servista 2.4.3 以降にリリースされた SAP EICS からアップグレードされる際には、Business Method や Event の再設定は必要ありません。

DataSpider Servista SAP EICS Install Guide

## DataSpider Servista SAP EICS インストールガイド

第二版 2014.8.14

株式会社アプレッソ 〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友不動産江戸川橋駅前ビル 2F TEL:03-4321-1111 FAX:03-4321-1112